

■
学外との研究サンプル等(マテリアル)の提供や入手のための

岩手大学における研究成果有体物 管理システム(MMC)の使い方

※岩手大学は九州大学有体物管理センター(MMC)が構築した管理システムの利用について協定を締結し国内4大学(2014年3月時点)が連携利用しています。



<MMC利用にあたっての手続き>

本学研究者が自身のマテリアルをMMCに登録して、他大学や企業への提供を行うには、まずご自身の『マイページ』の設定をしていただきます。
(ご自身のメールアドレス、パスワード等の設定)

<学外からの提供依頼があった時>

本学研究者がマテリアルの譲渡依頼を承諾する場合



【本学研究者】MMCのWebアドレスを学外研究者に案内(英文ページもあり)

【学外研究者】Webからオーダー入力

(オーダー入力の際、学外研究者ご自身にも『マイページ』の設定をしていただきます)



【岩大/研究推進機構】MTAの締結・決裁手続きやマテリアル発送

【本学研究者】手続き進行状況や契約内容をWebでいつでも確認することができます

(※備考)本学研究者がMMCに登録済の他大学マテリアルの受領を希望する場合についても利用できます。Webから自分でマテリアル受領依頼をすることで他大学の事務担当者と連絡をとり、受領することができます。

<MMCの活用状況>

- 2013年5月にMMCサイトに加盟・運用開始
(MMC利用に関する大学となるための覚書締結(2012年7月))
- MMC加盟後の2年でMTAを取り交わしたのは海外件11、国内5件。
- 2013年度以前の締結済みMTA分についても、MMCのデータベースを利用して履歴や契約書を管理しています。
- **学外に提供可能な皆さまのマテリアルを積極的にご登録ください。現在、学内の新規マテリアル登録受付中です。**

<メリット>～海外の研究機関との連携～

現在ネパール、ベトナム、インドネシアの3か国の研究機関と連携を構築しています。共同研究管理のノウハウや留意点がWeb上でシェアされていますので、本学と海外の研究機関との共同研究を行う際の参考とすることができます。

The image shows a screenshot of the Material Management Center (MMC) website. The top part features a colorful illustration of three countries: Nepal (with a cow and mountain), Vietnam (with a boat and palm trees), and Indonesia (with a parrot and rice field). A yellow arrow points from the illustration to a screenshot of the 'Nepal Project' page. The screenshot shows the '共同研究進捗' (Joint Research Progress) section, dated 2013/07/19, with a title '共同研究打ち合わせ' (Joint Research Meeting). The text describes a meeting on May 18th regarding a project in Nepal, mentioning the Nepal Agricultural Research Council (NARC) and the collection of wild corn. It also includes three photos labeled '写真1', '写真2', and '写真3'.

これらの国の利用可能な生物資源の情報を順次ご紹介してまいります。